

高知県感染症発生動向調査（週報）

2012年 第31週（7月30日～8月5日）

★ お知らせ

○ 百日咳に注意して！

定点医療機関からの報告が、定点当たり前週の0.13から0.37と増加しました。百日咳にかかった人の咳やくしゃみ、つばなどのしぶきに含まれる病原体を吸いこむことによって感染します（飛まつ感染）。成人では、咳が長期間続きますが比較的軽い症状で経過することが多く、気がつかないうちに新生児や乳幼児への感染源となることがあります。手洗いや咳エチケットで感染を拡げないようにしましょう。

○ マイコプラズマ肺炎に注意して！

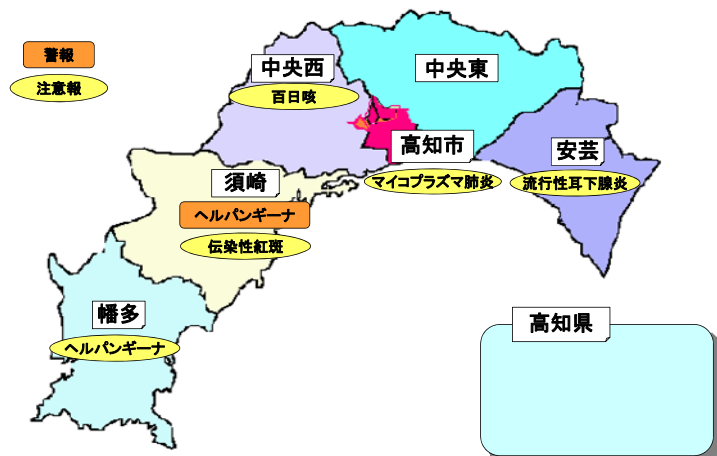
定点医療機関からの報告が、定点当たり前週の0.50から0.38と減少しましたが、報告定点以外の医療機関からの患者情報が増加しています。マイコプラズマ肺炎にかかった人のせきやくしゃみなどのしぶきに含まれる病原体によって人から人へ感染します（飛まつ感染・接触感染）。感染を拡げないためのポイントは、咳エチケットと手洗いです。

★ 県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数（人）	県内の傾向
感染性胃腸炎	↘	1. 53	高知市、幡多、中央東で増加したが、全体では減少している。
ヘルパンギーナ	↘	1. 43	中央東、高知市で増加したが、全体では減少している。須崎では引き続き警報値を、幡多では注意報値を超している。流行のシーズンなので注意が必要。
水痘	↗	0. 80	幡多、高知市、中央東で増加した。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗	0. 67	高知市、中央東で増加した。
突発性発疹	→	0. 50	中央西、高知市で増加した。

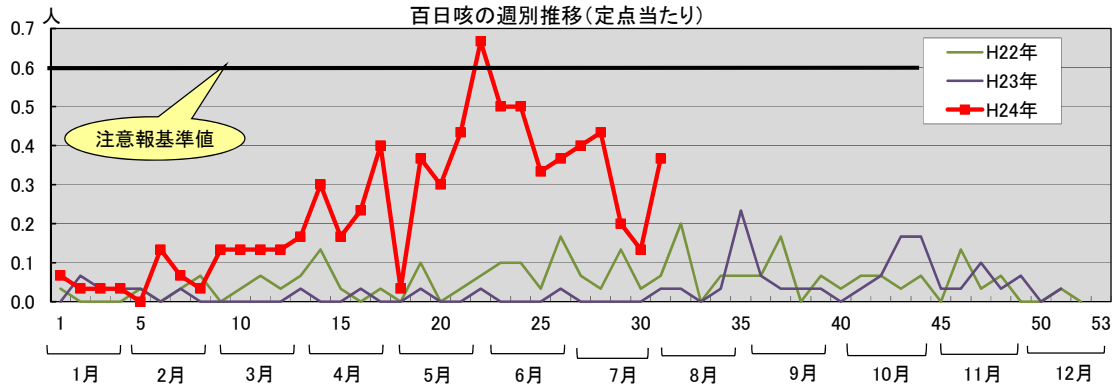
★ 地域別感染症発生状況



★ 気を付けて！

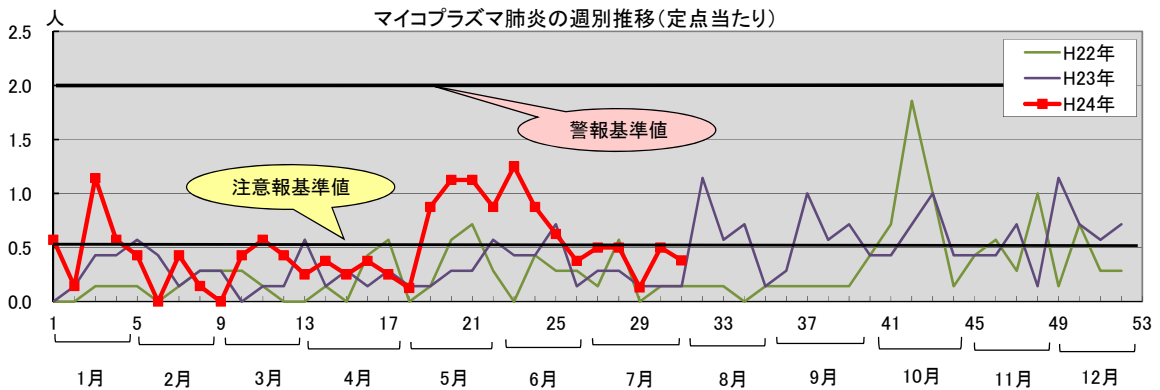
○ **百日咳：0.37**（注意報値：0.60 警報値：1.00）

定点医療機関からの報告が定点当たり 0.37（前週：0.13）と増加した。中央西 0.67、須崎 0.50、中央東 0.29、高知市 0.55 で増加し、中央西では注意報値を超している。例年と比較すると高い値が続いている。病原体定点からは百日咳菌 (*Bordetella pertussis*) が 3 例検出されている。感染力が強いので、咳エチケット、手洗いをして予防しましょう。



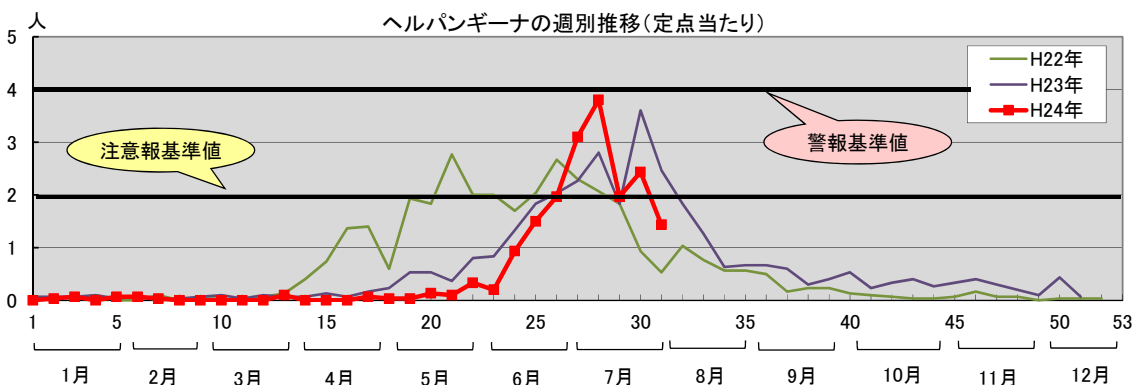
○ **マイコプラズマ肺炎：0.38**（注意報値：0.50 警報値：2.00）

定点医療機関からの報告では定点当たり 0.38（前週：0.50）と減少した。高知市で 0.60 と注意報値を超している。病原体定点からは肺炎マイコプラズマ (*Mycoplasma pneumoniae*) が 8 例検出されている。感染を拡げないために、手洗い、うがいなどの一般的な予防方法の励行と、患者との濃厚な接触を避けるように気を付けましょう。



○ **ヘルパンギーナ：1.43**（注意報値：2.00 警報値：4.00）

定点医療機関からの報告が定点当たり 1.43（前週：2.43）と減少した。中央東 1.14、高知市 0.82 で増加し、須崎では 4 週続けて警報値を、幡多では注意報値を超している。病原体定点からは A 群コクサッキーウイルス (*Coxsackievirus*) が 11 件検出されている。流行のシーズンなので、手洗いやうがい、咳エチケットをして予防しましょう。



★ 病原体検出情報

前週搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
31	無菌性髄膜炎	4	男	高知市	Coxsackievirus A9
31	咽頭炎	1	男	中央東	Coxsackievirus A9
31	不明発疹症	2	男	須崎	Coxsackievirus A9
31	不明発疹症	10ヶ月	女	須崎	Coxsackievirus A9
31	不明発疹症	7ヶ月	男	須崎	Coxsackievirus A9
31	無菌性髄膜炎	7	男	中央東	Echovirus 7
31	—	2ヶ月	男	高知市	Echovirus 7
31	上気道炎	1	女	中央東	Rhinovirus
31	百日咳	2	男	高知市	<i>Bordetella pertussis</i>
31	百日咳	6	男	高知市	<i>Bordetella pertussis</i>
31	百日咳	31	女	安芸	<i>Bordetella pertussis</i>
31	マイコプラズマ	11	男	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
31	マイコプラズマ肺炎	12	男	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
31	マイコプラズマ肺炎	14	男	中央東	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
31	マイコプラズマ	5	男	中央東	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
31	マイコプラズマ	4	女	中央東	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
31	マイコプラズマ肺炎	10	女	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
31	マイコプラズマ	13	女	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
31	マイコプラズマ	6	女	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
26	感染性胃腸炎	1	女	高知市	Parechovirus NT
30	感染性胃腸炎	8ヶ月	男	中央東	Adenovirus 2
30	ヘルパンギーナ	1	男	中央東	Adenovirus NT
30	感染性胃腸炎	1	男	中央東	Adenovirus NT
30	無菌性髄膜炎	3	男	高知市	Coxsackievirus A4
30	ヘルパンギーナ	1	男	中央東	Coxsackievirus A4
30	感染性胃腸炎	1	男	中央東	Coxsackievirus A4
30	無菌性髄膜炎	3	男	高知市	Coxsackievirus A9
30	不明発疹症	1	女	須崎	Coxsackievirus A9
30	不明発疹症	3	女	須崎	Coxsackievirus A9
30	—	8ヶ月	女	高知市	Echovirus 7
30	不明発疹症	3	女	高知市	Echovirus 9

* 「保健所」について、患者の居住地を管轄する保健所名を記載する。

★ 全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	2	90	40歳代(女) 80歳代(男)	高知市
3類	腸管出血性大腸菌感染症	1	2	20歳代(女)	
5類	梅毒	1	4	70歳代(女)	中央東

★ 定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
中央東	早明浦病院小児科	マイコプラズマ肺炎 4 例 (6、9 歳男、10 歳男女) マイコプラズマ肺炎流行中
	あけぼの小児クリニック	マイコプラズマ肺炎 2 例 (4、5 歳)
高知市	けら小児科・アレルギー科	カンピロバクター腸炎 1 例 (18 歳男) マイコプラズマ肺炎 3 例 (6 歳男 2 名、10 歳女)
中央西	日高クリニック	百日咳 2 例 (9 歳男 PT797 FHA104、 17 歳男 PT162 FHA86)
	石黒小児科	ヘルペス性歯肉口内炎 1 例 (1 歳女)、 単純ヘルペス 1 例 (11 歳女)
須崎	もりはた小児科	30wマイコプラズマ肺炎 2 例 31wマイコプラズマ肺炎 1 例 (10 歳女)、帯状疱疹 1 例
幡多	さたけ小児科	膿痂疹 6 例 (1 歳男 2 名、2 歳女、3 歳男、6 歳男、7 歳女)

★ 全国情報

第29週 (7/16～7/22)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核366例

3類感染症：細菌性赤痢1例、腸管出血性大腸菌感染症95例

4類感染症：E型肝炎1例、A型肝炎3例、つつが虫病1例、デング熱5例、レジオネラ症27例、レプトスピラ症1例、日本紅斑熱2例

5類感染症：アメーバ赤痢11例、ウイルス性肝炎3例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、後天性免疫不全症候群15例、梅毒10例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん50例、麻しん5例

報告遅れ：E型肝炎1例、レジオネラ症1例、急性脳炎2例

◆ インフルエンザ

インフルエンザ (Influenza) は、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症で、毎年世界中で流行がみられている。

感染症発生動向調査では、全国約5,000カ所 (小児科定点約3,000、内科定点約2,000) のインフルエンザ定点からの報告に基づいてインフルエンザの発生動向を分析している。2011/2012年シーズンのインフルエンザの定点当たり報告数は、2011年第49週に1.11と全国的な流行開始の指標である1.00を超え、2012年第5週に定点当たり報告数は42.62 (報告数209,974) と流行のピークとなり、その後は減少傾向が続いていたが、ここへきて増加がみられている。

2012年第29週の国内のインフルエンザの定点当たり報告数は0.28 (報告数1,356) となり、2週連続で増加がみられた。都道府県別では沖縄県 (21.10)、鹿児島県 (0.42)、福井県 (0.09)、新潟県 (0.08)、福岡県 (0.07)、大分県 (0.07) の順であり、沖縄県、鹿児島県以外の45都道府県の定点当たり報告数は0.10を下回っている。一方、沖縄県では第26週以降にAH3亜型の検出割合の増加と共に患者報告数も急増してきており、第29週の同県からの患者報告数1,224は、全国の患者報告数のうちの90.3%を占めている。

第29週の患者報告数の年齢群別割合をみると、60歳以上18.1%、30代15.3%、20代12.3%、5～9歳12.2%、0～4歳12.1%の順となっている。60歳以上が最多を占め、また20歳以上の成人の割合が60%を超えているのは例年の季節性インフルエンザの報告数の年齢分布とは大きく異なっている。

近年、沖縄県では冬期のみならず夏期にもインフルエンザの流行が認められるようになってきているが、夏期の同県の定点当たり報告数が20.0を上回ったのは2009年の新型インフルエンザの流行を除けば2006年以来である。患者報告数の年齢分布をみると、学校が夏期休暇に入っても、同県を中心としたインフルエンザの流行は継続する可能性があり、いましばらくは注意深い観察が必要である。

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第31週 平成24年7月30日(月)～平成24年8月5日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第31週							計	前週	全国(30週)	高知県(31週末累計) H24/1/2～H24/8/5	全国(30週末累計) H24/1/2～H24/7/29
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多						
インフルエンザ	インフルエンザ								()	()	1,268 (0.26)	16,405 (341.77)	1,625,478 (330.25)	
小児科	咽頭結核熱						1		3	4 (0.13)	3 (0.10)	1,530 (0.49)	107 (3.57)	31,695 (10.07)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		4	13	1	2				20 (0.67)	16 (0.53)	3,618 (1.15)	1,596 (53.20)	192,179 (61.09)
	感染性胃腸炎	8	5	25	6	2				46 (1.53)	61 (2.03)	10,654 (3.39)	5,981 (199.37)	709,907 (225.65)
	水痘	1	2	11		1				24 (0.80)	20 (0.67)	2,359 (0.75)	1,667 (55.57)	129,652 (41.21)
	手足口病			2	1					3 (0.10)	9 (0.30)	3,677 (1.17)	86 (2.87)	25,702 (8.17)
	伝染性紅斑		3	5		2				10 (0.33)	15 (0.50)	469 (0.15)	751 (25.03)	16,979 (5.40)
	突発性発疹	1	1	8	4		1			15 (0.50)	16 (0.53)	2,178 (0.69)	429 (14.30)	52,018 (16.53)
	百日咳		2	6	2	1				11 (0.37)	4 (0.13)	117 (0.04)	244 (8.13)	2,443 (0.78)
	ヘルパンギーナ		8	9	5	9	12			43 (1.43)	73 (2.43)	13,648 (4.35)	581 (19.37)	70,993 (22.57)
	流行性耳下腺炎	2	2	1				4		9 (0.30)	7 (0.23)	1,624 (0.52)	551 (18.37)	46,396 (14.75)
RSウイルス感染症		2							2 (0.07)	()	609 (0.19)	622 (20.73)	27,803 (8.84)	
眼科	急性出血性結膜炎								()	()	8 (0.01)	()	323 (0.48)	
	流行性角結膜炎								()	()	368 (0.54)	24 (8.00)	10,953 (16.11)	
基幹	細菌性髄膜炎								()	()	8 (0.02)	6 (0.86)	265 (0.57)	
	無菌性髄膜炎			1					1 (0.13)	1 (0.13)	34 (0.07)	15 (2.14)	435 (0.93)	
	マイコプラズマ肺炎			3					3 (0.38)	4 (0.50)	458 (0.98)	134 (19.14)	11,643 (24.98)	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			1					1 (0.13)	1 (0.13)	32 (0.07)	8 (1.14)	462 (0.99)	
計 (小児科定点当たり人数)	12 (6.00)	29 (4.15)	85 (7.27)	20 (6.66)	17 (8.50)	29 (5.80)	192 (6.23)			42,659	29,207 (762.28)	2,955,326		
前週 (小児科定点当たり人数)	15 (7.50)	19 (2.71)	91 (7.82)	28 (9.33)	24 (12.00)	53 (10.40)		230 (7.45)						

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第31週							計	前週	全国(30週)	高知県(31週末累計) H24/1/2～H24/8/5	全国(30週末累計) H24/1/2～H24/7/29
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多						
インフルエンザ	インフルエンザ										0.26	341.77	330.25	
小児科	咽頭結核熱				0.33			0.60	0.13	0.10	0.49	3.57	10.07	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.57	1.18	0.33	1.00			0.67	0.53	1.15	53.20	61.09	
	感染性胃腸炎	4.00	0.71	2.27	2.00	1.00			1.53	2.03	3.39	199.37	225.65	
	水痘	0.50	0.29	1.00		0.50	1.80		0.80	0.67	0.75	55.57	41.21	
	手足口病			0.18	0.33				0.10	0.30	1.17	2.87	8.17	
	伝染性紅斑		0.43	0.45		1.00			0.33	0.50	0.15	25.03	5.40	
	突発性発疹	0.50	0.14	0.73	1.33		0.20		0.50	0.53	0.69	14.30	16.53	
	百日咳		0.29	0.55	0.67	0.50			0.37	0.13	0.04	8.13	0.78	
	ヘルパンギーナ		1.14	0.82	1.67	4.50	2.40		1.43	2.43	4.35	19.37	22.57	
	流行性耳下腺炎	1.00	0.29	0.09			0.80		0.30	0.23	0.52	18.37	14.75	
RSウイルス感染症		0.29						0.07		0.19	20.73	8.84		
眼科	急性出血性結膜炎										0.01		0.48	
	流行性角結膜炎										0.54	8.00	16.11	
基幹	細菌性髄膜炎										0.02	0.86	0.57	
	無菌性髄膜炎			0.20					0.13	0.13	0.07	2.14	0.93	
	マイコプラズマ肺炎			0.60					0.38	0.50	0.98	19.14	24.98	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			0.20					0.13	0.13	0.07	1.14	0.99	
計 (小児科定点当たり人数)	6.00	4.15	7.27	6.66	8.50	5.80	6.23				762.28			
前週 (小児科定点当たり人数)	7.50	2.71	7.82	9.33	12.00	10.40		7.45						

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869